

## 只見町ふるさと大使・高村帆香さん企画 只見町と出会える立ち呑み屋さん

# 「ただみスタンド」で ただみファンの輪を広げる



只見町ふるさと大使の高村帆香さん(当時大学4年)は、大学の卒業制作として、各地の立ち呑み居酒屋等と協力し、自身が企画した「ただみスタンド」を開催しました。昨年12月16日の福島市での開催から始まり、北は宮城県仙台市から、南は福岡県福岡市まで全国6か所を巡りました。

### 「ただみスタンド」とは

「ただみスタンド」は、日本各地の居酒屋等で、来店された方へ只見町の酒やつまみの販売・提供を行うとともに、高村さん自身が店頭に立ち、町やJR只見線の魅力を発信し、「ただみファン」の輪を広げ、只見町の活性化と只見線の利用促進を目的とした企画です。

### 「ただみスタンド」を企画したきっかけ

高村さんは、大学2年の時、三石神社の関連事業に関わり、初めて只見町を訪れました。その時に、「只見町の食べ物や景色、町民のあたたかさに触れ、只見町を好きになったことが、「ただみスタンド」

の企画につながりました」とのことです。また、只見線全線運転再開の際には、動画「おかえり、只見線。」の制作に携わり、町民への取材を通し、さらに只見町の魅力にひかれたそうです。

立ち呑み屋形式について高村さんは「初めての立ち呑み屋さんで、店主や常連の方があたたかく会話の輪にいられてくださり、そこには、生まれや育ち、世代の違いを越えた交流があることに気付きました。立ち呑み屋さんでふれたあたたかさは、只見町での人との関わりの中に生まれるあたたかさにも似ていました」と話し、只見町の人と立ち呑み屋で出会った人のあたたかさから、只見町と立ち呑み屋を組み合わせた「ただみスタンド」が生まれました。



### 「ただみスタンド」BOXで 町外の方と町民が繋がる

実店舗で開催された「ただみスタンド」は終了しましたが、高村さんは「ただみスタンド」の空間自体を提供し、只見町外に住む人と町民の繋がりをつくりたいです」と話し、「どこでも立ち呑み「ただみスタンド」BOX」をふるさと納税の返礼品として企画し、現在町から総務省に申請中です。

ただみスタンドを通して

「只見線に乗ることが夢」だと熱く語って下さった方、「今までの人生で一番美味しい!」と只見のお米に感動していた方、300人を超える多くの方が「只見町を知れてよかった。ありがとう。」と言って下さいました。私自身も只見町との出会いに感謝しているひとりです。

会いたい人がいる、帰りたくなる第二のふるさとがある幸せを噛み締めながら、今後も只見町とご縁を大切にしていきたいと思えます。改めまして、ただみスタンドにご協力、ご支援下さった全ての皆様へ心より感謝申し上げます。

高村 帆香



中です。

中です。

中です。

中です。

中です。